

2013年度「地域政策デザイナー」養成講座 カリキュラム概要

No	日時・会場	実施内容
0	4月17日(水) 九大箱崎理系地区	13:00～14:30 「大学院生向けガイダンス」
1	5月5日(日)～6日(月) 休暇村志賀島(合宿)	5月5日 オリエンテーション 5月6日 9:00 開講式 09:20～10:30 講義 谷口 博文 九州大学産学連携センター教授 「政策デザインの基礎」 10:40～12:00 講義 堀尾 容康 九州大学産学連携センター教授 「わが国の構造変化と地域社会」 13:00～15:00 ワークショップ ファシリテーション 濱 久人 NITデータユニバーシティ
2	5月14日(火) 電気ビル みらいホール	17:00～19:00 2013年度開講記念講演 講演 寺島実郎 日本総合研究所 理事長 「アジアダイナミズムと九州-構造変化の中での戦略的視座」
3	5月25日(土) JR博多シティ大会議室	13:00～18:30 講演 山崎拓 自由民主党総政策研究所 所長 「アジア外交の舞台裏」 ワークショップ
4	6月1日(土) JR博多シティ大会議室	13:00～18:30 講演 樋渡啓祐 武雄市長 「市民価値の向上とは?～いま、武雄市で起こっていること～」 セミナー 長谷川光一 九州大学 STIセンター 助教 「プロジェクトマネジメントの視点から見た報告書作成のポイント —仮説設定、データ取得、分析、スケジュール管理」
5	6月29日(土) JR博多シティ大会議室	13:00～18:30 講演 高橋 礼一郎 内閣府国際平和協力本部 事務局長 「日本の安全保障と国際協力—アフガニスタン、韓国の経験から」 ワークショップ
6	7月6日(土) JR博多シティ大会議室	13:00～18:30 講演 谷口和繁 世界銀行駐日特別代表 「世界の開発課題とグローバル人材に期待される役割」 ワークショップ
7	7月13日(土)～15日(月) 韓国 釜山(合宿)	釜山フィールドワーク
8	8月3日(土) JR博多シティ大会議室	13:00～18:30 講演 石井祐司 元航空自衛隊 空将補 「国際社会における日本」 セミナー 名和利治 名和コンサルティング株式会社「プレゼンテーション技法」 ワークショップ
9	8月17日(土) JR博多シティ大会議室	13:00～18:30 講演 根本祐二 東洋大学大学院経済学研究所 教授 「老朽化と人口減少の切り札『省インフラ』への期待」 <ショート・プレゼンテーション> 「社会インフラ整備・維持補修の課題(仮題)」 桑野修司 国土交通省九州地方整備局 「地域インフラの老朽化問題(地域からのアプローチ)」 堀尾容康 九州大学産学官連携センター 教授 <パネルディスカッション> 根本祐二、 国土交通省九州地方整備局、 塚原健一(九州大学教授) 3名 ※コーディネーター 堀尾容康 九州大学教授 ワークショップ
10	9月7日(土) JR博多シティ大会議室	13:00～18:30 中間発表・講評 ワークショップ
11	9月28日(土) JR博多シティ大会議室	13:00～18:30 講演 青木麗子 (株)DLC・GBコンサルティング 代表取締役 「中国 - 実は反日家は一人もいない ～中国の今を知り、日本の未来を解く～」 ワークショップ
12	10月12日(土) JR博多シティ大会議室	13:00～18:30 講演 1 トム・イエイツ PSM 駐福岡オーストラリア総領事 「グローバル人材への期待」 【英語】 講演 2 李 湧権 (LEE YONG KWUN) 九州産業大学 准教授 「都会のネズミと田舎のネズミ ～人のパワーの源泉は何か?～」 【日本語】 ※コーディネーター 堀尾容康 九州大学教授 ワークショップ
13	10月26日(土) JR博多シティ大会議室	13:00～18:30 講演 末吉興一 公益財団法人国際東アジア研究センター理事長 「環境ビジネスと国際展開 —地域発水ビジネスの国際戦略—」 ワークショップ
14	11月9日(土) 電気ビル みらいホール	13:00～18:00 政策提言発表 「人口減少下の新たな成長のかたち」 大学改革シンポジウム 「社会の課題解決と大学教育・研究の融合」 基調講演 板東久美子 文部科学省文部科学審議官 パネルディスカッション <パネリスト> 板東久美子 文部科学省文部科学審議官 松尾新吾 九州経済連合会名誉会長 佐藤元彦 愛知大学学長・理事長 有川節夫 九州大学総長 堀尾容康 九州大学教授 <コーディネーター> 堀尾容康 九州大学教授 修了証書授与・修了式

※講師日程については変更の可能性があります。

※4月17日は、九大大学院生のみ対象となります。

※受講生は各回の講演の後、少人数のグループに分かれ、政策提言発表に向けて課題発見、解決案の提示、

制度調査、インタビュー、レポート発表などに取り組むワークショップを行います。

※聴講生はワークショップとフィールドワークには参加せず、講演の聴講のみ(全13回)となります。(第0回と第7回を除く13回)